

(別紙2(2))

事業所名 グループホーム いきがい

## 目標達成計画

作成日: 令和 6年 3月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	27	入居者の方々への細かなケアが統一できていない	職員全員が統一することで、入居者、ご家族の皆様へ、より安心して施設を利用していただけようになる	連絡ノートを更に活用する事で、各々が情報共有の量を上げていく。管理者やケアマネの不在時でも、出勤者だけで相談して新しい事を実施していく流れを作る 6ヶ月
2	20	新型コロナウイルスの発生以降、様々な活動が制限されている	屋内での活動は勿論、屋外の活動や個々が知人との繋がりが絶えぬよう、関係を維持していく	制限が完全に無くなるわけではないが、日々の業務内容を見直しながら、事案を捻出し活動を行っていく 6ヶ月
3	26	モニタリングが不十分、介護計画が浸透していない	ケアマネ一人が計画作成やモニタリングを実施するのではなく、各ご利用者担当の職員とケアマネが協力して、モニタリングや介護計画の周知を行っていく	ケアマネが各担当職員と相談しながら、モニタリングの実施や介護計画作成の協力、周知するための協力を行っていく。計画に関しては経験の浅い職員もいる為に丁寧に対応していく 12ヶ月
4	8	権利擁護に関する制度や情報について、学習機会はあるが少なく、どの職員も理解が浅い	全職員が必要な場面で助言ができるよう知識を身につける	資料を準備し、一度にではなく少しずつ学習し、継続的に反復していく 12ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。